

平成二十三年初詣大特集

正月らしさが失われつつある近頃ですが、せつかくの新年です。一年のはじまりを新鮮な気持ちで縁起良くスタートするために初詣に出かけませんか。

釜石で初詣といえば釜石大観音と尾崎神社が有名ですが、昔は初詣といえば氏神様やその年の恵方にある神社仏閣にお詣りするのが習慣でした。そこで、今回の特集第二弾。かだってタイムス編集部スタッフを紹介する《私の地元の初詣スポット》をお届けします。

◇ 鶴住神社



元禄三年の勧請といから三百一十年余の歴史ある神社です。大晦日の夜には鶴住居虎舞の奉納舞が行われます。

釜石市鶴住居町第13地割79-2

TEL 0193・28・2323

◇ 天照御祖神社



御祭神は天照大神（アマテラスオオミカミ）さくら祭りの大名行列で有名な唐丹町の神社です。

釜石市唐丹町字片岸30-1

TEL 0193・55・2138

◇ 八雲神社



御祭神は素戔嗚尊（スサノウノミコト）八百年余の歴史を持つ釜石の総鎮守。年越しの参拝客には境内で甘酒が振る舞われます。

釜石市八雲町12-3

TEL 0193・23・6709

初詣の作法について

賽銭箱の前で、神様へお供え物としてお賽銭を奉納し、身についた厄を払い、手を合わせる参拝を、社頭参拝といいます。ここでは、社頭参拝の順序や注意点などを紹介していきます。

- 1、賽銭箱の前で姿勢を正します。
- 2、軽く会釈をして鈴の緒を振り、邪気を祓います。
- 3、お賽銭を奉納
- 4、※二拝（2回深くお辞儀）二拍手（2回拍手）一拝（1回深くお辞儀）参拝を終えた後は、軽く一礼して神前を去ります。

寺社によっては、二拝四拍手一拝など形式が異なる場合があります。気になる場合は、神社にある案内版を確認したり、神主さんに聞いてみましょう。

神社での参拝の作法をしつかりと身につけ、心をこめてする所作は、見ていてとても気持ちの良いものです。ぜひマスターして参拝しましょう。



108の煩惱の数だけつかれる除夜の鐘を聞きながらの初詣もまたよきかな



釜石山 正福寺

釜石市甲子町十地割十八
TEL 0193・23・5956



明峰山 石心禅寺

釜石市大只越町一-一
TEL 0193・22・4080



海中山 盛岩寺

釜石市唐丹町字小白浜四五三
TEL 0193・55・2174



清涼山 常楽寺

釜石市鶴住居町十三地割八十八
TEL 0193・28・3300